

令和2年度厚生労働行政推進調査事業費補助金（障害者政策総合研究事業）  
持続可能で良質かつ適切な精神医療とモニタリング体制の確保に関する研究

分担研究報告書

地域における医療機関間の連携に関する研究

分担研究者

北村 立（石川県立高松病院・院長）

研究協力者

山口武兼（東京都保健医療公社）、中村満（成増厚生病院）、岩田和彦（大阪精神医療センター）、遠田大輔（富山県立大学看護学部）、松井隆明（三善病院）、齋藤円（ひらかた市民病院）、嶋森好子（岩手医科大学看護学部）

**研究要旨：【目的】**①一般病院における精神科医の勤務状況や、管理者が精神科医に期待する役割を調査する。②かかりつけ医が精神科医療に期待していることや連携を困難にする点を明らかにする

**【研究方法】**①日本病院会の会員病院の管理者に対するアンケート調査、②かかりつけ医12人に対し1時間の半構造化面接を行い、内容を質的に分析する

**【結果および考察】**① 529病院から回答が得られ（回答率21.4%）、単科精神科病院を除いた510病院のデータを解析した。59.6%の病院で精神科医が勤務しており、このうち増員を希望する病院が44.1%あった。精神科医が勤務していない病院では、47.8%が精神科医の勤務を希望していた。以上より、一般病院における精神科医のニーズは高いと考えられた。一方精神病床を有する病院の28%が削減を考えており、精神病床は一般病床に比べ、採算面と病床利用率の面で圧倒的に劣ることは重要な案件と考えられた。精神科医に期待する役割として「入院中のせん妄や認知症への対応」が64.5%と群を抜いており、老年精神医学の教育の重要性が示唆された。一方で、「睡眠障害への対応」、「アルコール使用障害への対応」については、期待する病院管理者は少なかった。睡眠障害に対する適切な睡眠薬の使用や睡眠衛生指導、アルコール使用障害に対する節酒指導は、我が国の健康問題を考える上で重要なテーマであり、このような精神医学的なアプローチを、もっと病院管理者に周知する必要がある。新型コロナウイルス感染症に罹患した精神障害者の治療環境としてふさわしいものについては、約半数の管理者が単科精神科病院でみることを基本と考えていた。精神科特例など単科精神科病院の特殊性への理解は乏しいと考えられた。

② データ収集は終えており、解析中である。

**【結論】**一般病院における精神科医のニーズの高さが明らかになった。しかし一般医療と精神医療の診療報酬面での差が大きいため、一般病院では精神科医が十分に活躍できない可能性がある。一般医療と精神医療を切り離して考えることは時代のニーズに合わなくなっており、抜本的な変革が必要ではないかと思われた。

地域における医療機関間の連携を明らかにするために、「一般病院における精神科医療の必要性と期待する役割についての研究」と、「地域におけるかかりつけ医と精神科医の連携に関する研究かかりつけ医と精神科医の連携についての研究」を行った。

## 研究1 一般病院における精神科の必要性と期待される役割についての研究

### A.研究目的

一般病院に精神科医が常勤することは、その直接的な診療行為だけでなく、一般科との連携により、その病院の医療の質全般の向上に寄与すると考えた。最近、診療報酬面でも、精神科リエゾンチーム加算や、総合入院体制加算の要件に精神科病床が位置付けられるなど、一般病院における精神科医の診療に一定の評価が得られているが、超高齢社会を迎えた上に、複雑化しストレスの大きい我が国の社会情勢を考えると未だ不十分であると言わざるを得ない。

本調査では、一般病院における精神科医の必要性と期待される役割を明確にし、精神科と他科との連携に関して、より具体的な議論を進めることを目的とする。

### B.研究方法

令和2年9月16日現在、一般社団法人日本病院会に加盟するすべての医療機関2,469施設を対象とした。PDFファイルの調査票（直接入力可）を添付し、全会員病院へメールおよびFAXによる一斉送付を行い、回答はデータ送信、メール添付、FAXいずれかによって行う方式とした。調査期

間は令和2年9月16日～10月31日である。

（倫理面への配慮）

本研究では個人情報扱わない。

### C.結果

529施設から回答が得られた。[全2,469施設（令和2年9月現在）回答率21.4%] 病院内での精神科医療の実態を把握するために、単科精神科病院（19施設）からの回答を除いて集計した。

#### 1. 精神科医勤務の状況

回答した病院のうち、304病院（59.6%）で精神科医が勤務していた。人数は、200床未満で常勤医2.1人、非常勤医1.4人、200床以上では常勤医4.5人、非常勤医3.5人であった。「精神科医の派遣が保証されるとしたら、精神科医の増員を希望するか」の問いには、「増やしたい」が44.1%、「現状維持」が52.0%で、「減らしたい」と回答した病院が5病院（1.6%）あった。

精神科医の勤務していない203病院のうち、97病院（47.8%）が精神科医の勤務を望んでいた。逆に精神科医は不要と答えたのは106病院で、全体の20.8%であった。その理由は、「病院の性質上馴染まない」、「連携がうまくいっており必要性を感じない」などであった。

#### 2. 精神病床について

200床未満の病院で精神病床があるのは3病院（7.1%）に過ぎず、200床以上では92病院（35.1%）が精神病床を有していた。精神病床を有する病院のうち28%が精神病床の削減を考えていた。

#### 3. 標榜科について

精神科を標榜している病院が 63.5%、心療内科が 9.5%、精神科神経科が 6.3%、神経科精神科が 3.9%などであった。とりまとめると、精神科が約 75%、心療内科が約 10%、その他が約 15%で、標榜科はないという回答もあった。

#### 4. 精神科医に期待する役割について (表 1、図 1)

病院管理者が精神科医に最も期待する役割として、「入院中のせん妄や認知症への対応」が 64.5%で最も多く、次いで「緩和ケア」が 34.5%、「救急医療における自殺企図者への対応」が 32.9%、「職員のメンタルヘルス」が 31.6%などであった。

#### 5. 新型コロナウイルスへの対応について (図 2)

新型コロナウイルス感染症に罹患した精神障害者の治療環境としてふさわしいものを尋ねたところ (複数回答可)、「内科医を派遣するなどして単科精神科病院でみる」「重症化した場合の受入れを保証したうえで、原則単科精神科病院でみる」と、単科精神科病院での治療環境を望ましいと考える管理者が半数近く (44.9%) を占めた。

### D. 考察

約 80%の病院で、精神科医が勤務している、または精神科医を希望していることから、一般病院における精神科医のニーズが高いことが明らかになった。また精神科医の勤務する病院では 44%が増員を希望していることから、一般病院における精神科医の役割は増えていると考えられる。

これとは反対に、精神病床を有する病院のうち 28%が精神病床の削減を考えていた。精神病床は一般病床に比べ、採算面と

病床利用率の面で圧倒的に劣ることは重要な案件である。これは、小手先の診療報酬改定では修正不可能であるが、例えば総合入院体制加算 2・3 の施設基準に、標榜科としての精神科を明記するなど、少しでも工夫していく必要がある。また、どうしても採算面で折り合いがつかなければ、一般病院と精神科医療施設のより強固な連携方法を検討する必要があると思われる。

精神科医に期待する役割として、「認知症やせん妄への対応」が群を抜いていた。認知症やせん妄の分野は、精神医学の教育において歴史的に軽視されがちである。よって精神科専攻医の教育を担当する者には、老年精神医学教育の重要性を認識してもらう必要がある。また、精神科医が重要と考えている、「産後うつへの対応」や「睡眠障害への対応」、「アルコール使用障害への対応」については、期待する病院管理者は少なかった。産後うつは実数が少ないのでやむを得ないが、睡眠障害に対する適切な睡眠薬の使用や睡眠衛生指導、アルコール使用障害に対する節酒指導は、我が国の健康問題を考える上で重要なテーマと考える。特にアルコール使用障害は我が国に 1000 万人以上いると言われており、糖尿病等の生活習慣病と深い関係があることから、これに対する精神医学的なアプローチを、もっと病院管理者に周知する必要がある。

精神科医に期待する役割として、職員のメンタルヘルスへの期待も予想以上に高かった。職員のメンタルヘルス対策は現代の病院管理者にとって重要なテーマである。勤務する精神科医が直接職員を診察することは難しいが、産業医を中心として、精神

科医や公認心理師などをメンバーに加え、病院ごとに職員のメンタルヘルスを管理する部門を作る必要があるかもしれない。

新型コロナウイルス感染症に罹患した精神障害者の治療環境としてふさわしいものを尋ねたところ約半数の管理者が単科精神科病院でみることを基本と考えていた。単科精神科病院では、内科常勤医のいる病院は少なく、また患者のアメニティや危険防止を重視した病棟構造になっており、感染症対策はほとんど考慮されていない場合が多いので、現状を正しく理解されていないと思われた。さらに単科精神科病院は精神科特例のため看護師の配置も15対1など一般の病院より少ないため、単科精神科病院で感染症患者の受入れを期待されても困難な状況が理解されていないと考えられた。

## E. 結論

高齢化し複雑化する現代社会においては、一般病院にも精神科的視点が必要なことは論を待たない。今回の結果でも精神科医へのニーズの高さが示された。しかし、精神科は一般科に比べ圧倒的に診療報酬が安いので、一般病院で精神科医が十分に力を発揮することは容易でない。また単科精

神科病院は精神科特例の問題があり、今回の新型コロナウイルス感染症などへの対応は困難を極める。一般医療と精神医療を切り離して考えることは時代のニーズに合わなくなっており、抜本的な変革が必要ではないか。

## F. 研究危険情報

なし

## G. 発表

### 1. 論文発表

なし

### 2. 学会発表

第34回日本総合病院精神医学会総会（令和3年11月19日、福井市）シンポジウムにて、「病院管理者が精神科医に期待すること～日本病院会の調査から～」の演題で発表予定

## H. 知的財産権の出願・登録状況

### 1. 特許取得

なし

### 2. 実用新案登録

なし

### 3. その他

なし

表1 精神科医の役割

	実際に行っている 役割（複数回答可）		期待する役割 （上位3つ）	
	病院数	割合	病院数	割合
救急医療における自殺企図者への対応	166	54.6%	100	32.9%
入院中のせん妄や認知症への対応	275	90.5%	220	64.5%
緩和ケア	188	61.8%	105	34.5%
睡眠障害への対応	192	63.2%	39	12.8%
アルコール使用障害への対応	139	45.7%	13	4.3%
産後うつへの対応	154	50.7%	29	9.5%
物忘れ外来	110	36.2%	39	12.8%
児童思春期のこころのケア	104	34.2%	25	8.2%
高齢者などの不安や抑うつ	228	75.0%	88	28.9%
院内のクレーム対応、アドバイス	48	15.8%	8	2.6%
職員のメンタルヘルス	177	58.2%	96	31.6%

総数 304 病院

図1 精神科医の役割

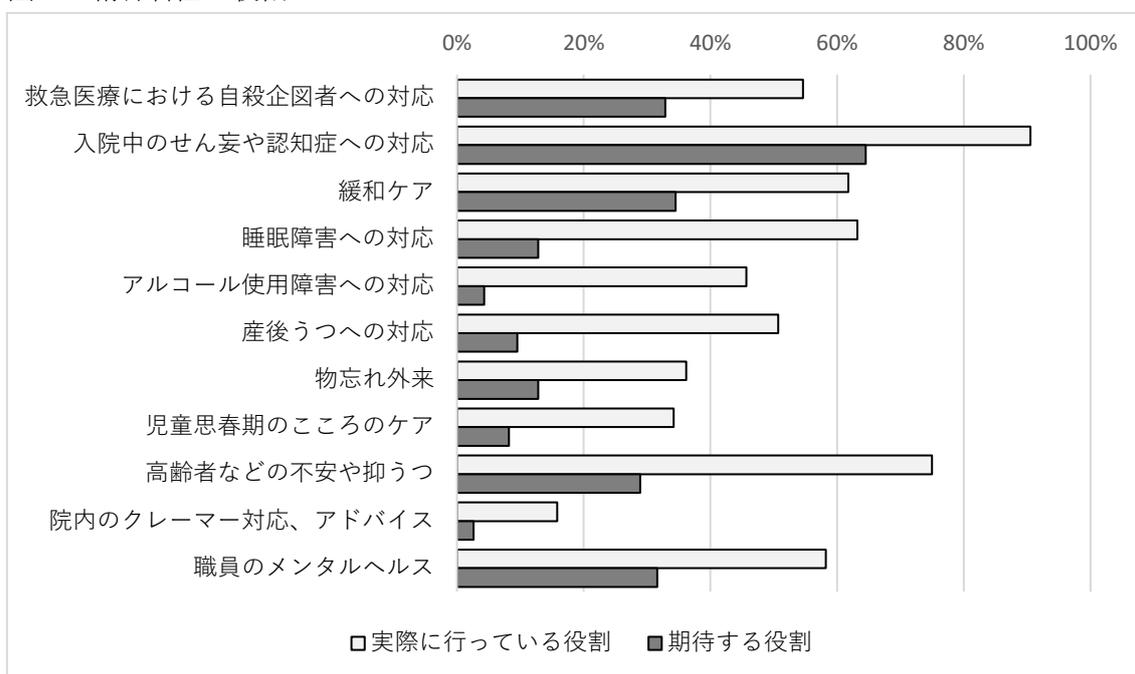
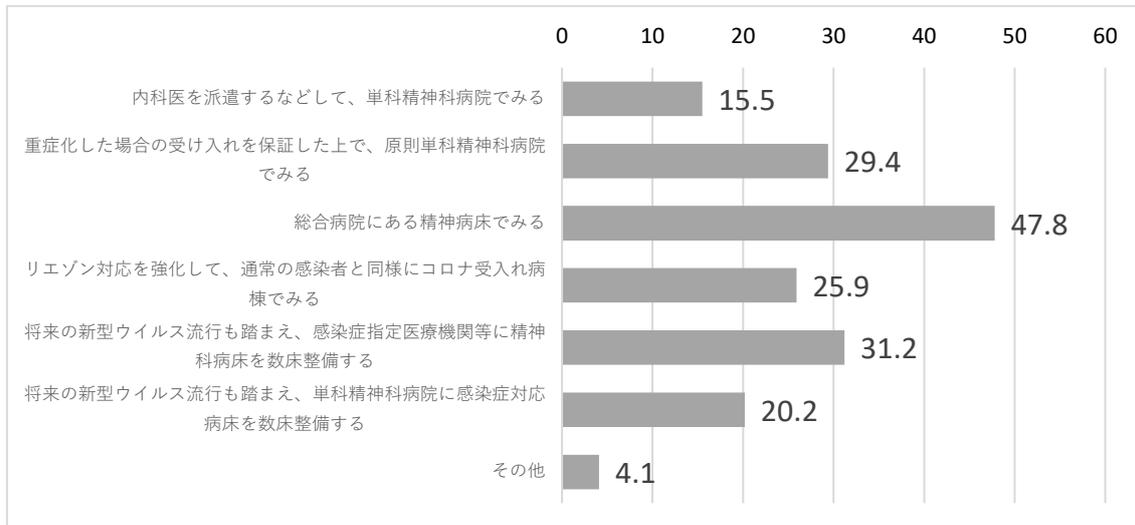


図2 新型コロナウイルス感染症に罹患した精神障害者の治療環境としてふさわしいもの



## 研究2 地域におけるかかりつけ医と精神科医の連携に関する研究

### A. 研究目的

近年精神科疾患のすそ野が広がっている。うつ病や認知症ばかりでなく、アルコール使用障害やギャンブル依存、ゲーム依存などへの対応方法を考えるとき、精神科の専門性は不可欠である。これからの我が国において地域包括ケアシステムの構築は重要な課題だが、それを考える上でも精神科医や精神医療の役割は大きい。しかし、我が国の精神医療は精神科病院の入院治療を中心に発展しており、扱う疾患も統合失調症、双極性感情障害、中毒性精神障害、器質性精神障害などの重症例が多く、一般の人にとって敷居が高い。近年急増している精神科クリニックも、ほとんどが予約制で休日夜間の対応は難しく気軽には利用できない。このようなこともあって、精神科医と一般科医、かかりつけ医の間には大きな溝があるように感じている。そこで、かかりつけ医に半構成的インタビューを行

い、これを質的記述的に分析することで、かかりつけ医が精神科医療に期待していることや連携を困難にしている点などを明らかにする。

### B. 研究方法

居住地域に偏りのない、かかりつけ医12人に対し、オンライン面談で1時間程度の半構成的インタビューを行う。インタビューはかかりつけ医と面識のない看護師で、インタビューガイドに沿って行う。録音された内容はすべて逐語録に起こし、質的記述的に分析する（テーマ内容分析：thematic content analysis）。逐語録を繰り返し読み、かかりつけ医や精神科医の考えを表した記述部分を抽出しデータとし、コード化する。コード化された意味内容の類似性と相違性を比較しながら類型化し、サブカテゴリ化し、さらに抽象度を高めカテゴリ化する。データ分析は熟練した研究者が行う。

（倫理的配慮）人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に基づいて個人情報の保

護を行った。データの解析においては個人識別情報である氏名は削除し、本人が特定できない方法で厳重に行った。石川県立高松病院の倫理審査委員会の承認（第 2002 号）を得た。

### **C.研究の経過**

金沢市医師会へ協力を依頼し、令和 2 年 11 月～12 月にかけて、かかりつけ医 6 人のインタビューを終えた。その他の地区は東京と大阪を予定していたが、新型コロナウイルス感染の拡大のためリクルートが進まず、機縁法にて、青森県、千葉県、埼玉県、大阪府、京都府、大分県在住の、かかりつけ医 6 人をリクルートし、令和 3 年 1 月～2 月にかけてインタビューを行った。すべてのデータを逐語録におこし、現在解析中である。